

欧州テクニカルセンター

EUROPEAN TECHNICAL CENTRE, E-TEC

1. 概要

社名：Koyo Seiko Co., Ltd.

European Technical Centre

所在地：オランダ アルメーレ市

創立：1993年9月

敷地：7100m²

沿革：1993年9月 Koyo Deutschland 敷地内に設立

1997年11月 オランダアルメーレ市に移転

機能：1. ヨーロッパ全域の顧客に対する技術サービス

(軸受選定, 設計, 調査, 評価試験など)

2. 各種パートナーとの軸受研究開発 (顧客企業, 大学, その他研究機関)

3. 新製品・新技術に関するリサーチ活動



E-TEC

2. 地域の紹介

オランダはヨーロッパの中心に位置しているため、ヨーロッパ全域に広く分布した顧客へのアクセスが容易です。

欧州テクニカルセンター(以下E-TECと称す)のあるアルメーレ市は、オランダの首都アムステルダムより北東へ約30km(約40分)に位置し、ヨーロッパの玄関口スキポール空港から1時間以内のところに位置します。ここアルメーレ市は干拓地で、海拔下にあります。

「世界は神が作りたもうたが、オランダはオランダ人がつくった」と有名な文言にあるように国土への愛着や地球温暖化などにつながる環境保護意識は他国よりも強うかがえます。



アムステルダムの風景



E-TECの所在地

3. E-TEC の紹介

E-TECは、軸受選定、設計、評価試験などの顧客への技術サポートとそれをベースにしたデザイン活動を中心にヨーロッパで迅速に対応拡充するために1997年11月にアルメール市に移転しました。ここでは、オンラインシステムやTV会議システムが日、米、欧の3極技術ネットワークを構成し、迅速で有機的な技術対応を可能とするとともに、ヨーロッパ内各営業部門、生産工場ともLANネットワークで結ばれ、緻密なコミュニケーションと技術情報の共有化が可能となっています。

E-TECの活動は、大きく分けて次の3つが挙げられます。

- 1) 設計
- 2) 開発
- 3) 研究

設計については、通常の軸受設計のみならず、顧客の部品統合にも対応し、豊富なデータベースを利用した標準部品の適用および最適選定を支援するなど顧客の立場に立ったデザイン活動を実践しています。

開発については、以下のような、各種試験装置や測定機器をそろえ、顧客要求に対応しています。

- (1)各種アプリケーション別性能評価試験機
- (2)軸受基礎性能評価試験機
- (3)顧客実機をそのまま評価できる試験装置
- (4)各種測定機器および解析装置など

ベンチ性能試験のほか、顧客と共同の実機試験装置での軸受挙動解析による最適設計検討や、生産工場の現調化部品の評価によるVA/VE活動にも寄与しています。

研究については、ヨーロッパの主要大学および公的・私的研究機関と連携しヨーロッパの技術革新に貢献する研究活動をおこなっています。また、ユニークな固有技術をもったベンチャー企業とのコミュニケーションを密にし、5年後10年後の魅力ある新製品開発への取り組みも活発におこなっています。

一方、軸受講習会や顧客サービスの一環としてのオープンレクチャー開講なども計画中で地域に根ざした地道な活動を通じてKoyoのブランドの浸透に努めています。

4. 今後の展開

設備、陣容の拡充をはかるとともに、IT技術を活用した日、米、欧間のより効果的な有機的技術ネットワークを確立していきます。

また、ヨーロッパでは統一通貨ユーロの発足(2000年1月)などにみられる市場の変化や、企業統廃合および吸収合併など劇的な速さで業界再編がおこなわれています。技術や需要変化の波に乗り遅れないようにChallenge(挑戦)・Speed(迅速)・Confidence(信頼)をモットーに、スピーディーでタイムリーな対応を心がけ、顧客第一、顧客満足度向上に一層尽力していきたいと考えます。

さらには、地球温暖化による海面上昇が国土の存在に切実な影響を及ぼすここオランダでは、いかにクリーンなエネルギーを作り出すか、いかに無駄なエネルギーの浪費を削減するかに大きな努力が払われています。当社においても限られた資源を有効に活用できる製品および製品技術の開発に励み、未来の子供たちにきれいな環境、きれいな地球を残すために、少しでも社会に貢献したい、役立てたいとの思いで日々努力し、ヨーロッパに貢献できるヨーロッパ企業になるよう努力しています。

(欧州テクニカルセンター 山本 明)